

SYOHEI ニュース

令和3年4月号

SYOHEI ニュース発刊の経緯

奥州市医師養成事業の養成医師・奨学生(含家族)・奥州市医療局関係職員向けの情報紙として令和2年4月から毎月下旬に発行し奥州市の広報誌と共にお送りします。

医師養成事業だより

1 村澤哲也医師着任

奥州市医師養成事業養成医師の村澤哲也医師が4月から総合水沢病院診療部外科医長として着任しました。

専攻は消化器外科で3月まで京都の基幹病院で研鑽を積まれてきました。



2 今年度養成医師の診療応援は3名です。

- ① 薄 善孝医師：県立中部病院 専攻は泌尿器科：木曜日応援勤務：2年目
- ② 佐藤一輝医師：国立仙台医療センター 専攻は神経内科：火曜日応援勤務：2年目
- ③ 澤 陽平医師：岩手医科大学病院 専攻は循環器内科：月曜日応援勤務：今年度から

3 令和3年度の新規奨学生1名を採用

昨年度3名に引き続き、1名を採用しました。「県外出身・県外私立医大1年生・男性」です。

奥州市医療局 医師養成事業スタッフ紹介

医師確保推進室長 朝日田倫明（経営管理部長）
医師確保推進室主幹 岩渕清彦（経営管理課長）
医師確保推進室員 佐々木進（行政専門員）
医師確保推進室員 尾形盛幸（事務補助）

岩手県内の新型コロナウイルス感染の状況

岩手県内の新型コロナウイルス陽性者は、4月27日現在で858名です。3月下旬から岩手県の感染者が再度、増加傾向にあります。

患者の状況(令和3年4月27日15時00分発表)は、

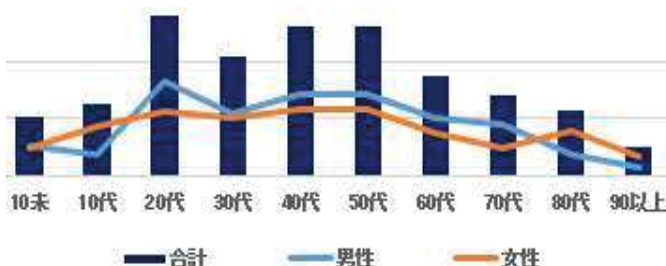
累計患者数	うち入院・療養 数(重傷者)	うち退院 ・療養解除	うち死亡
858名	82(2名)	745名	31名

県内の月別コロナ患者数(令和2～3年度)



県内の年代別コロナ患者数 R2.3～3.4 (単位: 人)

年代	10未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計
男性	26	19	83	54	72	71	51	45	18	8	447名
女性	25	43	56	51	59	59	37	25	39	17	411名
合計	51	62	139	105	131	130	88	70	57	25	858名



一寸寄り道：大谷選手の成績ボード登場

4月19日、奥州市市民ホールに郷土出身大リーグエンゼルス大谷翔平選手の成績ボードが設置されました。



紹介する小沢市長 上・打者成績：下・投手成績
4/27 現在 打者 AVG 300 HR 7 RBI 18
投手 ERA 3.29 Win 1 Lose 0

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。

令和3年4月27日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833

奥州自慢コーナー：日高火防祭

※ 令和3年度は開催中止になりました。



日高火防祭（ひたかひぶせまつり）は、岩手県奥州市水沢で毎年4月29日（前夜祭4月28日）、日高神社例大祭に実施される火防祈願の祭です。300年を超える歴史を持ち、祭に使用される囃子は「**火防祭の屋台囃子**」として岩手県指定無形民俗文化財に指定されています。

雅なはやし屋台に娘が三味線と太鼓で囃子を奏でます。もともとは「**打ちばやし**」と呼ばれる素朴な屋台でしたが、その後、町

屋が栄え絢爛さを競いあうようになってからは雅なはやし屋台となりました。



町印」大町組

祭当日は、古式にのっとり行われます。朝、日高神社に各町組の年番長（各町組の代表）が集まり、祭りの安全を祈願する「年番祭」が行われる。宗家である日高神社より御札を受け取った年番長は直ちに各屋台に戻り、御札をはやし屋台にくくり付け運行が始まる。



打ちばやし」横町組

各町組屋台は各自の町へ挨拶回りをを行い、参拝の為日高神社に向かう。しかし日高神社参道が狭いため、町印、打ちばやしのみが神社境内で参拝を行い、はやし屋台は参道手前の大手通りに集結し「遥拝式」を行う。遥拝式では全

はやし屋台が横一列に神社方向へ向き、お祓いを受け一斉にお囃子を演奏する。

その後行列をなし吉小路、大手町を通り水沢城大手門があった市役所前に集結する。

午後1時15分、消防団による纏振りを先頭に各町組の屋台が整列し、川口町、立町、柳町、大町、横町、袋町とかつての町屋地区を練り歩く。途中、横町にある水沢消防の祖佐々木佐五平像に各町組が参拝する。また、はやし屋台に乗るお人形さんや祭関係者の店先に到着すると屋台を回転させ、演奏を披露しながらゆっくりと練り歩く。夕方、中央通りに到着した行列は町印・打ちばやし抜け、はやし屋台のみとなり夜の祭へと装いかわる。



揃い打ち

午後6時40分、一斉に雪洞が点灯され祭りのクライマックス「揃い打ち」「相打ち」が始まる。水沢駅前交番付近にてはやし屋台全9台が集結し、お囃子を一斉に演奏する「揃い打ち」が行われる。その後、会場をメイプル前交差点に移し「相打ち」が行われ、その年のメイン町組となるはやし屋台が1台待ち構え、他のはやし屋台8台と相対しお囃子を披露しあう。最後に互いの町組に仁義礼をつくし三本締めを行う。



一通りの行事を終えたはやし屋台は各町の入口へ到着すると、町に帰還したことを知らせる為にお囃子を演奏する。それを聴いた町の人々は軒先で提灯を持ち出迎え祭りは終わる。